



Konoura News/March 2004 (平成16)

このうら

- 男女共同参画社会を考えよう……………2～3
- たらまつり写真館……………4～5
- 共生社会を目指して……………6
- まちのキラリ星・郷土の偉人 白瀬轟……………7
- このうらニュースフラッシュ……………8～9
- 年金・生き生きライフ……………10～11
- アトリエ元気っ子・こびあ情報……………12～13



「タラとどっちが大きいかな」

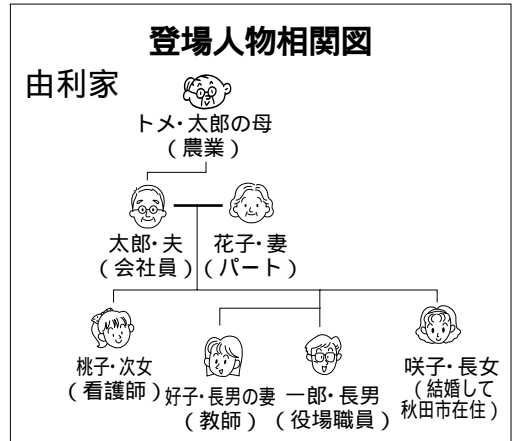
2月4日、かけよ掛魚まつり。

勢至公園のタラ担ぎ体験コーナーでは、園児たちが記念撮影。

大きなタラの横に立ってみると、「うーん。大きさは同じくらいかな」
「来年は、もっと大きくなったキミたちに会えるね」（タラより）

男女共同参画社会を考えよう

男女共同参画社会という言葉をよく耳にするようになりましたが、男女共同参画社会とはどんな社会なんでしょうか。対話劇「あしたの風」 - 男性と女性のパートナーシップ - (脚本・秋田県女性農業士・石原敏子さん) から、私たちの毎日の生活の中で、家族や地域の関わりの中で起きてくる身近な問題を一緒に考えていきましょう。



第1幕 女性が役職に就く。夫の身支度も妻の役目?
時は今、ところは鳥海山を仰ぎ海風が吹く町、そこに住む由利家のお話です。由利家の居間に、1日の仕事を終えてみんなが帰ってきました。

「ただいま。」
「お帰りなさい。私も先ほど帰ったところよ。」
「今夜は久しぶりにみんな揃って夕飯を食べることができね。お盆以来か。」
「というところは、一郎たちも帰っているのか。」
「ええ、そうよ。いま、好子さんが夕飯の準備をしているの。さあ、手伝わなくちゃ。」

「私は漬物でも出してくるかな。ただいま。」
「おお、桃子も今日は早く帰ってきたか。よかった、よかった。」
「お父さん、娘が早く帰ってくるのがそんなに嬉しいの。」
「当たり前だ。嫁入り前の娘が夜遅く帰ってくるのはみっともないだろう。」

「おお、桃子久しぶりだな。看護師師っていう仕事は時間が不規則だから同じ家にもいて、なかなか顔を合わせないな。」
「ああ兄さん。こらんの通り若さあふれてはりきっているわ。」
「おまたせしました。さあ、ごはんができたわ。」
「今日は、大ごちそうよ。好子さんが腕をふるってくれたの。秋の味覚がどっさりのメニューよ。へえ。すごいなあ、好子。料理作りに目覚めたのか。」
「うふふ。実は、学校の調理実習で子どもたちに教えなくちゃいけないの。その練習なのよ。」
「いつもそうだといいな。」

「さあ、飯だ、飯だ。うん、この炊き込みご飯のつまみこと。うん、おいしい。それにはあちゃん、のなすがっこ最高だよ。」
「こっやっつて息子夫婦、孫夫婦、大勢に囲まれてご飯食べることでできてわたしや幸せものだよ。ひとり暮らしの人が多いこの世でよ。」

「お母さんが家にいてくれるからみんな安心して働けるんですよ。それに、野菜を作ってもらったり、漬物つけてもらったり、どれだけ助かっていることか。」
「ところで、川向かいの恵子さんが、この間、なんと農業委員に立候補して当選したっていう話じゃないか。」
「そつなのよ。すごいわねえ。恵子さん、農業一生懸命にがんばっているでしょう。そういう女性にがんばってもらわなくちゃ。」
「そついえば今日、役場で最初の農業委員の集まりがあって、おばさんにあつたけど、きちんとスーツ着て、はつらつして見直したよ。」
「農業委員っていううちの死んだじいちゃんややってきたあの役のことか。今は、女の人も立候補する時代になったのか。」

「この前は、町会議員にも初めて女性が当選したし、女に強くなればちや男の幕がなくなるんじゃないか。」
「お父さん、今は男女共同参画時代になってきたんですよ。学校でも男の子と女の子と区別しないように混合名簿になったし、女性の校長先生もたくさんでてきたでしょう。」

「そつよ。女のくせになんていう言葉はなくしていかなきゃいけないわ。私だって機会があれば町の委員でもやってみたいと思うようになったもの。」
「えっ、花子もか。今だって我が家のおなたたちは十分強いだろう。男女平等を地でいっているようなもんじゃないか。」
「お父さん、私たちが強いとして、たちら家の中という狭い範囲のことでは、議員や委員になるということは、これからの町のことを決める話し合いに参加できるということなんです。」
「そつだよ。その場がなければ自分の意見だつて、発言する機会だつてないんだよ。職場でも同じことが言えるよ。」
「今、役場でも女性の役職のことが話題になってきているな。町長も実力ある女性を責任のある」

ポストにつけたらって言うっている。

ほら、好子さん、女性の校長先生目指してがんばりなさい。応援するから。

はい、がんばります。

私は、看護師長目指してがんばるからね。

まったく元氣だな、女たちは二人ともそれよりやることあるだろう。

また、お父さん結婚のことでしよう。私は結婚もするし、仕事も続けていくつもりよ。

私もそうよ。子供を育てながら先生を続けていきたいわ。お父さん、お母さん協力してくださいね。

その時はみんなで協力するからね。

そんな日がくるのを楽しみにしているからね。

さあ、今日の日曜日、山田の家で法事があるんだけど、誰かに行ってもらわないといけないわ。

やっぱりお父さんでしょう。家長だし、私が行ってもね。

わかった、わかった、俺が行く。黒い服やネクタイ、全部出しておいでくれよな。

みんな洋服ダンスの中に下がっているでしょう。白いシャツはクリーニングの袋に太郎長袖って書いてあるし、自分でできるでしょう。

そういえば、お父さん昔からどっかに出かけるとき、俺は何を着ればいいんだって、お母さんによく聞いていたよな。アハハ。

俺は、自分の着るものは自分で選ぶね。ポリシーというか、美学というか。

私も忙しいから自分でやってみよう。もってるんですよ。

だんだん風あたりが強くなってきたようだよ。さて、もう寝るとするか。

第2幕 仕事と家庭の両立って

その夜の由利家の居間です。好子さんと桃子さんが話をしています。

桃ちゃん、こつして話をするの久しぶりだね。

ここところ、病棟が変わったり、緊急の病人が来たりで忙しかったからね。

つい調子にのって威勢のいい

ところ見せてしまったけれど、お父さんびっくりしていたね。悪かったかな。

いいんだよ。父さんはこの家で、長男として大事に育てられたから、世間知らずでわがままなところがあるんだよ。たまにはシヨク療法もいいよ。

職場では女だからっていう甘えは許されないものね。

うん、甘えは許されないいうえに、女だからこれくらいのこととは当然という顔もされるんだよ。

さっきは、わかってるようになこと言ったけど、学校で掃除を一生懸命やっている男の子に向かってつい、「男の子なのに偉いね」なんていって、はつとしたり、整理整頓のできない女の子に「女の子でしよう」と言いそうになってはつとしてるの。頭では分かっているのにな。

そうゆうのをジェンダーって言うんでしょ。初めはなんのことかと思っただけれど、この頃耳になじんできたわ。

ジェンダーってというのは、女は優しい、家事をする、男は強い、家族を養う。などと昔から決めつけている男女の役割のことよね。一人一人が違っていて当然なのにな。

そういう押しつけがなくなるのと、その人らしく生きられるのにな。

(花子登場)

ああ、いいお風呂だった。さっぱりしたわ。

あっ、お母さん。一緒にお茶とうですか。

ありがとう。

お父さんどうしてる？怒っている？

ううん。安らかに高いびき。あれがお父さんのいいところだよ。

ああやって威張っているけれど、お母さんに頼っているんだ。お父さんって甘えんぼだよな。

そうかもしれないね。男でもお父さんの世代までは、女の人があるいるな役職につくことに抵抗があるんだらうね。決まり文句みたいに「外に出ていくんなら家の中のことしかりやってからにしる」と言われるって友達もこぼしているもの。

男性が同じことをしても、「農作業など仕事をでかしてから」なんて誰も言いませんよね。

まず、男女共同参画は家庭の中から実行していかなくちゃ。

それに地域や世間の目もあるわね。目立ってくるよ。女のくせに生意気だとか、家のことばっかり出歩いて、なんて言われるもの。

今の世の中は、女性も能力を発揮できるようにしていかないと、この先の発展はないですよ。仕事と家庭の両立は男性の協力があればできると思うんですけど。

まあ、少しずつねばり強く訴えて、みんなの意識を変えていくことが大切なのかもしれないね。

今夜の我が家の話は、いつもよりレベルが高かったわ。私もそういうことを分かってくれる男性と結婚することにするわ。

町会議員や農業委員に友達が勇気を出して立候補したこと、よし私もって思ったんだよ。

まだまだ話はずきないようです。地域では慣習が根深く残っており、積極的に行動したことが直接跳ね返ってくるのでためらわれているのではありませんか。それを乗り越えるには、何が必要なのでしょう。みんなで考えてみませんか。

(続)

この対話劇は、2月15日金浦町婦人大会で読み聞かせボランティア「いぶきの会」が行いました。

豊漁と海上安全への祈り

掛魚まつり



(写真提供 秋田魁新報社)

2月4日、掛魚まつり。前日から降った雪で町内は真っ白に覆われました。午前10時、総数33本、奉納23本のタラ行列が秋田県漁業協同組合を出発。沿道には、大きなタラを一目見ようと多くの方々が訪れ、タラの担ぎ手たちは、金浦山神社を目指しました。

勢至公園は、タラ汁販売の1時間前から列ができ始め、いち早くタラ汁を食べたいという熱気に包まれました。また、公園広場内に設置された「タラ調理室」は、温かい湯気とおいしい香りですばい。

タラの素材を生かしたシンプルな味つけですが、「本場のタラは違う」といわれるように、大人気のタラ汁。「どうやって作っているんだろう」と、窓からチラチラのぞく人があとをたちません。中には、「調味料を教えてください」という熱心な方もいたりして…。

長い列を、ずっと待つてようやく、手にしたタラ汁をフウフウしながら食べるのは、格別の味でしょう。それが、うま味のひとつになっているのかもしれない。

小雪の舞う広場の中央では、餅つきが行われました。

「はい、お父さん、がんばれ」「息が合わないとだめだつて」などと、周りから声援と気合いが飛んでいました。

金浦のタラ漁は、気象条件がもっとも厳しい1月から2月が最盛期です。天候の予測を雲の形や長年の経験に頼っていた昔は、漁船の遭難が絶えませんでした。このような命がけのタラ漁だからこそ、神に祈る人々の信仰は厚く、まつりは連綿とその伝統を伝えてきました。

「掛魚まつり」は雄々しく漁に出かけた先人たちを敬い、感謝を捧げ、自らに誇りを改めて見出すまつりともなっているのです。

荒ぶる日本海から変わらぬ豊漁が伝えられた真冬の一日。今年も港が豊漁に活気づく年でありませよつに…。



金浦神楽披露



大きなタラも手際よく
さばかれます



どれにするかな～



「もうすぐできるよ～」



「はいっ、お待たせ！」



「こちらのタラ汁もどうぞ？」



「待ち遠しいな、あと少しだ」



小雪舞う もちつき



タラと一緒にパチリ



お味はいかが



「ちょっと重いけど、がんばります」

まちも、ハートも、

バリアフリー！

障害のある人もない人も、同等に社会に参加できる「共生社会」の実現を目指して、社会全体のバリアフリーが進められています。バリアフリーとは、障害のある人の活動を制限し、社会への参加を制約している要因（バリア）を取り除くこと。社会のバリアフリーを進めるためには、一人一人の「心のバリアフリー」も大切です。

共生社会を目指して

障害のある人もない人も、同じ社会に暮らしています。日本で障害のある人の数は六百万人以上。身体障害や知的障害、精神障害など障害の種類や程度は、一人一人違います。その多くが社会活動への参加を望んでいます。

このように障害のある人もない人も同等に社会参加できる「共生社会」としていくため、いま、私たちの周りでは、社会全体のバリアフリー化が進められています。

バリアフリーを阻むもの

例えば、街中の歩道や駅、施設などで、よく見かける点字ブロック。視覚障害の人の安全な歩行を助けるためのバリアフリーの一つです。しかし、駅前や商店街などでは、点字ブロックの上に自転車などが放置されていることも。視覚障害の人は、そ

れが障害となつて、安全に歩くことができなくなつてしまいます。

このように、障害のある人に対する配慮を欠いた行為は、もう一つのバリアを作つてしまいます。

「心のバリア」をなくそう

本当のバリアフリーにしていくためには、建物や制度のバリアをなくすだけでなく、障害のある人に対する無関心や偏見、差別といった「心のバリア」をなくすることも重要です。「心のバリア」は、障害や障害のある人をよく理解していないことから生まれます。障害のない人も、障害のある人の視点になって考えてみる。それが心のバリアフリーの第一歩です。

バリアフリーな共生社会は、社会のみならずつくるものです。障害のある人もない人も生活しやすい社会とするために、私たちができることを考えてみませんか。



考えてみよう。
例えばこんなこと。

仕事・職場で

障害のある人が使いやすい製品の開発やサービスの提供を考える
障害のある人が能力や意欲に応じ
て働ける環境を作る

情報提供で

視覚障害や聴覚障害のある人も同等に情報を得られるように配慮する

・ホームページは読み上げソフトに対応するつくり

・印刷物は、弱視や色覚障害の人にも見やすい配慮を

・音声や点字、手話、字幕などによる情報提供も考えよう

地域社会で

バリアフリーの設備や制度が適切に機能するよう配慮する

・点字ブロックに自転車などを置かない

・身体障害者補助犬の同伴を受け入れる など

地域やボランティアなどさまざまな活動を共にしよう

心の輪を広げる体験作文 「障害者の日」のポスター募集

障害や障害のある人に対する理解と認識を深めるため、内閣府では、毎年、都道府県・指定都市との共催で、「心の輪を広げる体験作文」および「障害者の日のポスター」の募集を実施しています。「心の輪を広げる体験作文」は、学校や社会生活、社会活動などのなかで、障害のある人となない人が、相互に心のふれあいの体験を通じて学んだことや感じたこと、社会に訴えたいことなどを内容とする作文を、小学校から一般まで幅広い方々から募集するものです。また、「障害者の日のポスター」は、障害者や障害者施策に関する理解や協力を呼びかける内容のポスターを、小学生と中学生から募集するものです。これまでの入賞作品は、下記のホームページに掲載されています。また、平成16年度の募集については、秋田県障害福祉課にお問い合わせください。

秋田県障害福祉課 (TEL 018-860-1331)
内閣府「障害者施策」

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

(財)国際障害者年記念ナイスハート基金

<http://niceheart.or.jp/sakuhinnsyuu15.html>

「命の大切さを知ってほしくて」

第40回全国児童才能開発コンテスト
全国連合小学校長会会長賞受賞

安彦 美月さん (堀切)
(金浦小学校6年)



作文「命の大切さについて」
取り組んだきつかけと内容は
このころ、「死ね！」や「殺す！」などと軽々しく言う人がいます。たぶん、自分におきかえて考えたことが無いからだと思っけれど、死にたくなくとも、死んでしまった人のことを考えるとかわいそうで仕方がありません。

少しでも「命の大切さ」を分かってほしくて、戦争(原爆)のことを調べながら、自分の入院体験を含めて、まとめてみました。

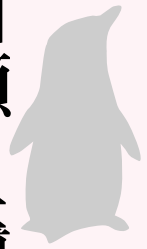
受賞を聞いて
とにかく、うれしかったです。家に帰って、家族に教えたらみんな喜んでくれました。

将来の夢は
たくさん絵を書いて、島田ゆかさんみたいな絵本作家になりたいです。

全国児童才能開発コンテスト(主催(財)才能開発教育研究財団)は、作文・図画・科学(生活科・理科)の3部門からなるもので、小学校児童の創造性を育成し、研究態度の向上をはかるために実施しています。

今回、作文部門には7230点の応募がありました。
学校賞として「世界の子と私たちはいま」(全8巻)は学校の図書館で国際理解に役立つ本として活用されます。

郷土の偉人



白瀬 轟

(第三十四回)

焦燥と苦悩

貴族院で認められた三万円がなぜか政府から一銭も下附されず、轟は苛立って大蔵省に交渉に行くと、大蔵省の役人は、これは学術調査のための探検だから文部省に行つて交渉せよと言ひ、文部省に行くと、金は大蔵省が出すのだからそちらへ行けという具合で、一向にラチがあきません。

轟は、このときほど日本の官僚機構というものに絶望し、嫌悪を感じたことはなかったと『南極探検』にこう書いています。

「いわば、自分は毛虫の如く嫌われた。両省ではお互いにハレものにさわるようにして防衛線ばかり張っていた。……すくなくとも今回の企図は日本を代表するに足る国家的事業だ。首尾よく成功すれば、間接に多少、日本の名譽を世界に輝かすことができよう。世界の活動舞台に

立つからには、少しは冒險的な壮舉も必要だろう」

そういうことがわからず、官僚たちは、ひたすら失敗したときのメンツばかりを心配している。そんな日本政府とその官僚のせせこましさがやりきれなかったにちがいありません。

同じ島国であるイギリスが、常に目を海の彼方に向けていたのに対して、日本は島の内側しか見ていませんでした。その伝統の差があらわれたと言つてもよいでしょう。

資金のメドがつかないまま、明治四十三年の春も過ぎようとしていました。「値万金」の日数がいたずらに流れ去つていく。イギリスでは今ごろスコット大佐が用意万端整えて出航を待つばかりと考えると、轟は居ても立つてもいられない焦燥にかられるのでした。

タイムリミットは刻々と迫っています。南極は一月から二月が夏です。したがって、一月の初旬ごろまでに上陸しなければなりません。スコット隊も同じです。だからこれ以上準備が遅れるようだったら競争には負けしてしまいます。

六月一日、スコット隊が南極に向けて出発したことが報じられました。轟の焦燥と苦悩は頂点に達していました。さすがの

轟も一時絶望的になつていました。「ああ、万事休す。我が徳足らざるか。時未だ至らざるか。むしろ断念せんか!」

しかし、それまでの必死の努力は、徐々にではあります、あちこちで少しずつ実を結びつつありました。

その一つに、成功雑誌社の社長、村上濁浪の献身的な協力です。轟は、同社が発行している『探検世界』という雑誌の購読者であり、また常連投稿者の社友で、村上社長とは旧知の仲でした。

この村上濁浪が、轟の八方塞がりや打倒する手を打ってくれたのです。村上は、轟の南極探検が国家的大事業であることの意味を理解し、これに国民的支持を得ることがまず必要と考え、そのためには新聞社の後援を得ようと思ひました。

村上はまだ報知新聞に働きかけ断られ、知人を介して朝日新聞に交渉しますが、これも断られます。村上の努力はこの時点ではことごとく不調に終わったかに見えますが、これが底流となつてやがて大きなうねりとなり高まつていくのです。

参考文献

白瀬京子著『雪原へゆく』

このうち ニュース フラッシュ



雪中行進出発

白瀬中尉の熱い思いを胸に 白瀬中尉をしのぶ集い

1月28日、白瀬中尉をしのぶ集いが行われました。みぞれ混じりの雨と強風の中、白瀬南極探検隊記念館前で雪中行進が出発。南十字星の旗を手に、参加者は白瀬中尉の生家浄蓮寺を目指しました。

集いは、白瀬中尉を隊長とする南極探検隊が明治45年1月28日、南緯80度05分に到達。付近一帯を「大和雪原」と名付けたことを記念し、今回で37回目となりました。

勤労青少年ホームで「白瀬中尉に学ぶ」をテーマにした作文



探検家「白瀬轟」作文コンクール表彰式

コンクールの表彰式が行われ、金浦小学校の須田厚子さん(4年)と金浦中学校の宮崎夏希さん(1年)が最優秀賞に選ばれました。

記念講演では、金浦町出身の竹内智さん(山梨大学教授)が「南極からのメッセージ」と題し、越冬隊員としての経験を交えて講演を行いました。

白瀬中尉も見たというコロナオーロラや人知を超えた自然現象を説明。「かけがえのない地球」を実際の映像が物語っていました。

見直してみよう自然がいつぱい

金浦町婦人大会講演会

2月15日、金浦町婦人大会が勤労青少年ホームで行われました。雨風の強い悪天候でしたが70名の参加者による講演会は、加藤雄悦さん(象潟町)を講師に迎え開催されました。加藤さんは、鳥海山の動植物に詳しく自然環境について知識の豊富な方です。

「私たちが、普段なにげなく生活しているこの自然環境は、実はとても素晴らしいものであること。それは、鳥や動物たちが証明してくれている。静岡に生息するタカがわざわざ卵を産みにくる」スライドには、中部



「動物たちは自然の豊かさを教えてくれる」と語る加藤さん

地方に生息するタカの姿がありました。中島台には、わき水の出っばがあります。動物たちの総合病院なのです」

現在の大量生産、大量消費によって、子どもは物を粗末にする習慣がついてしまった。大切にする気持ちが育たないから人を傷つけ、自分をも傷つけている。人間もよい環境で育てなければならぬ。野生動物たちのように。

当たり前のように飲んでいる水、吸っている空気。自然の豊かさに抱かれている私たちです。



熱心に耳を傾ける参加者

金浦町のアスリートたちを称えて

スポーツ賞表彰式典

2月22日、勤労青少年ホームにおいて、スポーツ賞表彰式典が行われました。

受賞者を代表し、特別功労賞を受賞した佐々木友和さんが「チームメイトの協力や支えがなかったら、今回の受賞はなかったと思う。健全な精神は健全な肉体に宿る」というように、これからもスポーツの発展を願う」とお礼の言葉を述べられました。金浦町のアスリートたちに拍手を送るとともに、新たなアスリートの誕生が期待されます。



4月からもよろしくね

春にはピッカピカの1年生

就学児童体験入学

2月10日、金浦小学校で就学児童体験入学が行われました。

保護者の方々は入学説明を受け、園児たちは先輩の1年生と学校を周ったり、体育館でゲームを楽しんだりしました。

新校舎に初めての1年生として入学することになる43人の子どもたち。

お互い1年生の新校舎と共に4月から新たな歴史を刻むこととなります。楽しい小学校生活が送れますように。



さらなるスポーツの発展を祈って

「どうしようしょっ」

ヨサコイ講習会

2月20日、勤労青少年ホームでヨサコイ講習会が行われました。

まずは、大きく深呼吸してストレッチから。呼吸を整えたところで、鳴子を手に練習開始です。「人に見せるためではなく、コミュニケーションのひとつにしてほしい」と講師の佐々木もと子さん。跳ねたり飛んだりの躍動感ある踊りに、暖房は必要なくなり「ヨサコイソーラン」の魅力満載の講習会でした。



「息はしているかな」まずは状況を理解すること

あわてず 落ち着いて

救命講習会

2月12日、にこにこ移動教室が保健センターで行われ、保護者の皆さんは、救命講習会に参加しました。

2体の蘇生人形を使って、心肺蘇生法と人口呼吸を実際に体験。

「結構、力があるものだな」消防署への連絡を忘れていますよ、「あ、そうだった」

子どもの事故に直面するとショックのあまり、おろおろしてしまいがちです。しかし、すみやかな対処が子どもの命を助けます。



楽しく踊って健康づくり

国民年金保険料がコンビニエンスストアでも納付できるようになります！

国民年金の保険料を納めやすい環境づくりのひとつとして、コンビニエンスストアでも納付できるようになりました。

これにより、金融機関、郵便局が休業日の土曜日や日曜日のほか、出勤前の朝早い時間また帰宅途中の遅い時間でも保険料を納めることができます。

ただし、コンビニエンスストアで納付できるのは、平成16年2月以降に発行された納付書に限られます。

なお、平成16年度（平成16年4月分～平成17年3月分）から使用していただく納付書は、4月上旬頃にみなさんのお手元に届く予定です。その新しい納付書は、コンビニエンスストアで使用することができます。それ以前の納付書については、ご利用いただけませんのでご注意ください。



国民年金保険料が納付できるコンビニエンスストア

ローソン サンクス デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア
 サークルK セイコーマート（北海道・関東地区のみ取扱い） am/pm
 セブンイレブン ファミリーマート コミュニティ・ストア ミニストップ
 スリーエフ ココストア ポプラ 生活彩家 くらしハウス



フィルターの掃除や 早めのスイッチOFFで こまめに省エネ

Point 1

早めのOFFが決め手

快適な室温を提供してくれるファンヒーター。寒くなればなるほど大活躍。1日中つけっぱなしという家庭もあるでしょう。

でも、お出かけや寝る直前までつけているのはもったいない。室温は急には下がりません。お出かけや寝る15分くらい前に切るのがコツです。

Point 2

フィルター掃除で効率アップ

ファンヒーターの性能を活用するには、フィルターのお手入れは欠かせません。フィルターに詰まったゴミやホコリを取り除くことが省エネのコツ。暖房効率がアップします。



こちら



笑顔印

金浦駐在所

雪解けと ゆるむ心に 気をしめて

～滑りませんか その運転で～

雪解け時期の交通事故の特徴

スピードの出し過ぎ

朝・夕、夜間のスリップ

歩行者と自転車利用者被害

ドライバーの皆さんは、道路の状態をしっかり把握して、早朝・夜間にはスピードを抑えた慎重な運転を心がけるとともに、交通マナーを守って事故の防止に努めましょう。

金浦町における交通事故発生状況

区分	1月中の事故	平成16年累計 (1月中)	平成15年累計 (1月中)
人身事故	件数	0件	2件
	死者	0人	0人
	傷者	0人	2人
物損事故	8件	8件	13件

やさしさを感じながら

点字指導員 金子 扶幾子(仁賀保町)

家にいてできる事、できれば誰かの役に立つ事かと思ひ、数年前から点字の勉強を始めました。でも、いざ始めてみれば、目の不自由な方が読みやすい文章にするためのルールがたくさんあります。一緒に始めた仲間と思考錯誤しながら、今一冊の本を点訳しているところですが、練習とは違い、間違ふことはできません。集中してやらなければならず、なかなか思うようには進みません。

そんな時、中学校の子どもたちと一緒に勉強する機会に恵まれました。人に教えることで、自分が学ぶ、まさにそんな感じで、一緒に楽しく学ぶことができました。実際に点字を打ってみたり、読んでみたりすることが中心でしたが、色々なルールのことや、どのようにしたら読みやすくてできるかを、読む方の立場になって考えながら行いました。点字は、漢字もカタカナもない、いわば、ひらがなだけの世界ですから。

この頃は、エレベーターや電化製品など日常の色々な場面で点字を目にするようになりました。また、点字以外にも目の不自由な方のために工夫がされているものが多くなり、うれしい感じがします。シャンプーとリンスの区別はもちろん、牛乳パックと他の紙パックを区別するための切り込みなど。ちょっとした工夫なのですが、相手の身になって考えれば、まだまだ色々な工夫ができそうです。点字の勉強でも、普通の勉強でも、相手の立場を思う気持ちから生まれるやさしさが、多くの人に役立っていけたらすばらしいと思います。そんなやさしさを感じながら過ごした時間でした。私の点訳もやさしさを大事にしながら完成に近づけたいと思います。

生涯学習活動誌『湾頭』より抜粋

4・7・10・12カ月児健診

日時 3月25日(木)
場所 保健センター(健康指導教室)
受付 4カ月児 12:40~13:00
7カ月児 13:00~13:20
10カ月児 13:30~13:40
12カ月児 13:30~13:40
対象 平成15年3月、5月、8月、11月に生まれた乳児と前回の健診を受けられなかった乳児
持ち物 母子手帳、アンケート票
4カ月、7カ月児健診の対象者は離乳食講習がありますので、受付時間に遅れないようお願いします。また、「おんぶひも」がありましたら持参してください。

3歳6カ月~8カ月児健診

日時 3月26日(金) 12:50~
場所 保健センター(健康指導教室)
受付 12:50~13:20
対象 平成12年7月~9月に生まれた幼児と前回の健診を受けられなかった幼児
持ち物 母子手帳、歯ブラシ
3歳児アンケート票(1)(2)

保健センターで遊ぼう

日時 3月11日(木) 9:00~11:00
場所 保健センター(健康指導教室)
対象 乳幼児とその家族
・お菓子、ジュースなどはご遠慮ください。

第3日曜日も開放しております

金浦町一般廃棄物最終処分場

燃えないゴミの最終処分場である、金浦町一般廃棄物最終処分場(前川)の開放日を下記のとおり変更いたします。

夏時間(3月~11月)

毎週月・木曜日 6:30~14:30
毎月第3日曜日 8:00~15:00

冬時間(12月~2月)

毎週月・木曜日 7:00~15:00
毎月第3日曜日 8:00~15:00

《問合せ先 金浦町役場町民課(38-4305)》

献血

温かい善意を
ありがとう

【金浦療護園】水谷安男

【浩寿苑】佐藤千穂子

【町内】越川信子・越川浩幸・阿部セイ子

【仁賀保町】齋藤希

【象潟町】鮫島聡

【金浦町役場】齊藤充・渡部尊志・越川雄一
今野和則・竹内千尋・三澤涉
竹内健

「アトリエ 元気っ子」



あさみ
佐々木彩沙美
(高森)

きりん組のおともだち

プールが大好きなお姉ちゃん。もぐったり、浮いたり、飛び込んだり…。妹の面倒もよく見てくれるしっかり者のお姉ちゃんです。4月からはピカピカの1年生だね！がんばれ!!



「いもうととお散歩」



小松くるみ
(花瀧)

お絵描きが大好きな女の子です。毎日いろいろな絵を描いては見せてくれます。ケンカもするけれど、妹の面倒を見てくれるやさしいお姉ちゃんです。



「いもうととあそんでいるところ」



れみ
佐藤麗美
(岡の谷地)

「男の子になりた〜い」と思っている反面、ピアノの大好きな女の子です!



「ともだちとかぞくとお散歩」

がんばりに マルッ

秋田県スポーツ少年団種目別スキー交流会アルペン競技
1月24日・25日(矢島スキー場)

小学校4年女子の部

優勝 阿部京佳さん

小学校6年男子の部

第16位 齋藤啓介さん

中学校2年男子の部

第6位 齋藤陽平さん

第9位 阿部正真さん

秋田県高校サッカーベストイレブン表彰式
2月1日(秋田市立体育館)

MF 今野啓太さん
(西目高等学校3年)

FW 伊藤将康さん
(由利工業高等学校3年)

第40回全国児童才能開発コンテスト
(財団法人 才能開発教育研究財団)

作文の部

全国連合小学校長会会長賞
安彦美月さん(6年)

「命の大切さについて」

佳作 佐々木惟さん(6年)

「この夏、学んだこと」

渡邊ゆいさん(6年)

「あきらめないで」

自衛官等募集案内

防衛庁では平成16年度大学を卒業される生徒並びに自衛官未経験者を対象に募集を行います。

募集種目	予備自衛官補 (一般・技術)	自衛隊幹部候補生 (一般・技術)
応募資格	一般(18歳以上34歳未満で学生を含む) 技術(18歳以上55歳未満で国家資格等を有する者) 自衛官未経験者であること	20歳以上28歳未満で大学卒業若しくは卒業見込みの者
受付締切	4月9日(金)	5月11日(火)
試験日	4月17日(土) 18日(日)・19日(月) (いずれか指定された一日)	5月22日(土)
試験会場	一般(秋田市) 技術(仙台市)	秋田市

問合せ先 自衛隊秋田地方連絡部

本荘募集事務所(22 3479)

ホームページアドレス <http://www.akita.plo.jda.go.jp/>

メールアドレス hq1@akita.plo.jda.go.jp



町立図書館
こびあ

BOOK & VIDEO

新着案内



『92歳、現役サラリーマン』
神部恭久 / 著
KTC中央出版 / 編



『しゅくだい』
いもとようこ / 文・絵
宗正美子 / 原案
岩崎書店 / 編

92歳の現役サラリーマン・井上和平。彼の1日、仕事、人生、発明、熟練、会社、伝達の7つのテーマを紹介し、高齢化社会において充実した人生を生きる普遍的な知恵を考える。NHK「にんげんどキコメント」を書籍化。

めえこせんせいがい言いました。「きょうの宿題は...です。」すると、みんなはいっせいに「えー、うそー、ほんと？」と、大さわぎ。いったいどんな宿題がでたのかな？



『これでカラダだいじょ』
志村けん / 著
アスコム / 編

「非人間的なシゴキの場でもなく、自由放任の場でもない。予想外の事が次々に起きる自然という非日常の中で、知らない同士が力を合わせて生き抜く生活体験を！」生き生きの20年以上にわたる活動と魅力を村長自ら語る。

そうです、ワタシが芸能界の健康オジサンです！不健康を絵で描いたような志村けんが元気でいられる秘訣「志村流健康哲学」を公開！血液サラサラ、中性脂肪減少、ストレス解消、肩こり解消などの志村レシビが満載。



『女房の具屋』
丸谷オー / 著
文芸春秋 / 編

宮本武蔵は実在しなかった！という仮説から、なぜ明治帝・大正帝が養子だったか？の論考まで、深遠玄妙かつ抱腹絶倒、ハタと膝を打ってニンマリの際作エッセイ15篇『オール読物』連載を単行本化。



『蘇れ！生きる力』
門脇邦弘 / 著
木本書店 / 編

平成15年度NHK全国短歌大会入選
秋仕事一つづつしまひ雨の日は
足病む夫に早目風呂たき居
越川 キエコ

金浦短歌会

幼い日父提灯持ち鬼遣らい
豆十二個炒り作柄占う
越川 キエコ

節分に福招き入れ鬼遣らい
中年男の健やかに老い
越川 武

雛祭り男雛女雛にこやかに
見守りて来し孫の成長
佐藤 恵美子

荒縄で結びて担ぐ大鱈の
肩の重みに漁夫笑顔見せ
佐藤 つや子

園児らは色とりどりのウエア着て
大鱈引きざり神社に向かう
高橋 卯治

伝統の鱈を捧げる宮前に
受け継ぐ児らも小鱈担いて
佐藤 幸一

風雅なる雛人形の飾られる
弥生も寂しきショッピングして
細田 文夫



塾生保育園から
こんどちほ！！

2月6日、ピアノの前に並んだ顔は、あんばんまん組（1歳児）のお友だち。
「ぼろん、ぼろん」きれいな音がするね。

「ちびっこ」アーティスト

岩城

『ひなまつり』古から現代までのお雛様・押絵雛展示
と き 2月28日（土）～4月4日（日）
9:00～16:00(2月中)・9:00～17:00
ところ 亀田城佐藤八十八美術館・天鷲村・資料館
入場料 美術館（一般510円・小中学生300円）
天鷲村・資料館（無料）
問合せ先 亀田城佐藤八十八美術館（74-2500）

東由利

『早春やしお元気まつり』雪上パークゴルフはいかが
と き 3月7日（日）
ところ 八塩いこいの森（10:00～15:00）
黄桜温泉「湯楽里」（12:00～13:00）
参加費 無料
問合せ先 東由利町企画課（69-2113）

鳥海

『オコジヨの森の雪まつり』ウィンターライブを満喫
と き 3月21日（日）11:00～18:00
ところ 鳥海オコジヨランドスキー場
参加費 無料（バザーは有料）
問合せ先 鳥海オコジヨランドスキー場（58-2932）

お知らせカレンダー 3月

1	月		16	火	
2	火	行政相談日 元気百歳館 (14:00~16:00) 生命の貯蓄体操教室 保健センター (13:30~15:00)	17	水	小学校卒業式
3	水		18	木	イキイキ健康教室(エアロビクス) 体育センター (10:00~11:00) ミニテニス教室 体育センター (13:30~15:00)
4	木	イキイキ健康教室(エアロビクス) 体育センター (10:00~11:00) ミニテニス教室 体育センター (13:30~15:00)	19	金	
5	金		20	土	春分の日 町民紅白柔道大会 体育センター
6	土		21	日	勢至保育園卒園式 (10:00~) 町民ミニテニス大会 体育センター 定期救命講習会 消防本部講堂 (9:00~12:00)
7	日	消防記念日 サイレン吹鳴・半鐘の打鐘 (6:00~)	22	月	生命の貯蓄体操教室 保健センター (13:30~15:00)
8	月	生命の貯蓄体操教室 保健センター (13:30~15:00)	23	火	お達者会 元気百歳館 (13:30~15:30)
9	火	町議会定例会 (~15日)	24	水	
10	水	健康相談 元気百歳館 (12:30~13:30) お達者会 元気百歳館 (13:30~15:30)	25	木	4.7.10.12か月児健診 保健センター イキイキ健康教室 青少年ホーム(19:00~20:00)
11	木	イキイキ健康教室 青少年ホーム (19:00~20:00) ミニテニス教室 体育センター (13:30~15:00)	26	金	3歳6~8か月児健診 保健センター
12	金		27	土	春休み子ども映画鑑賞会 こびあハイビジョンルーム (10:30~)
13	土	中学校卒業式 おはなし会 図書館こびあ (10:30~11:00)	28	日	定期救命講習会 消防本部講堂 (9:00~12:00) 野の会講演会 勤労青少年ホーム (15:00~16:00)
14	日	町民室内サッカー大会 体育センター (9:00~)	29	月	
15	月	生命の貯蓄体操教室 保健センター (13:30~15:00)	30	火	
			31	水	

発行・編集 秋田県金浦町役場企画課 (〇一八四)三三八 四三〇〇

秋田県由利郡金浦町字花瀧九三一 印刷所 本荘市中町一〇 株本間印刷所

*この広報紙は環境保護のため再生紙を利用しています。

慶弔だより

平成16年1月16日

平成16年2月15日

おたんじょう
おめでとう



佐々木 麗美(聡)木の浦山
越川 琉冬(和美)金浦

おめでと
おめでとう



齊藤 雄大(前川)
齊藤 まり子(象瀧町)

ごめいぶくを
お祈りします



佐藤 順一(72歳)前川
齊藤 安子(61歳)金浦
佐々木 カネミ(80歳)黒川
篠原 繁雄(92歳)川尻
高橋 俊雄(71歳)塩焚浜
阿部 ヨシ(97歳)金浦
今野 チヨ(76歳)大竹
佐々木 チヨ(90歳)堀切

社協一般寄付金

齊藤 正義(金浦)
佐々木 道夫(堀切)
阿部 金子(金浦)
広報紙に載せてほしい方は届け出の際に申し出てください。
広報紙のつららは音読テープもあり
ます。ご希望の方は、企画課までお知らせください。



休日応急診療在宅当番医

- 7日(日) 伊藤医院 (43-4171)
- 14日(日) 神坂医院 (43-3108)
- 20日(土) 象瀧駅前ヒフ科 (43-5252)
- 21日(日) 池田医院 (43-3106)
- 28日(日) おとうかりカク (43-3105)

象瀧町役場 (43-3200) でご確認ください。診療時間は10時~12時、13時~15時です。 象瀧町医師会

「ほっと一息」ティータイム
「焦げモチ」
2月初め、雪が降り積った
とても寒い日のことです。
土のついた雪を「はい、焦
げモチだよ」と手渡したAく
ん(5歳)なるほど。確かに
焦げたモチそっくりです。感
心していると、今度はまた
だの雪なんだけどね」とつ
こり。つられて、私もにつこり。
炭火で焼いたモチが食べた
くなりました。そういえば年
末になると、土間でモチつき
をしていました。やっぱりき
ねでつくモチはおいしかった
と思います。懐かしいなあ。(M)

町の人口・世帯

平成16年1月31日
人口
男 2,385人(減6)
女 2,675人(減1)
計 5,060人(減7)
世帯数
1,590戸(減1)